

財務ハイライト

適正なリターンを確保し、持続的な成長を行っていくことで、与信費用等を十分にカバーする利益を確保するよう努め、継続的に資産効率・資本効率の維持・向上を目指します。収益性、健全性ととのバランスや将来に向けて必要な戦略的投資を考慮しつつ、株主の皆さまへの安定的な配当と還元の充実を図ってまいります。

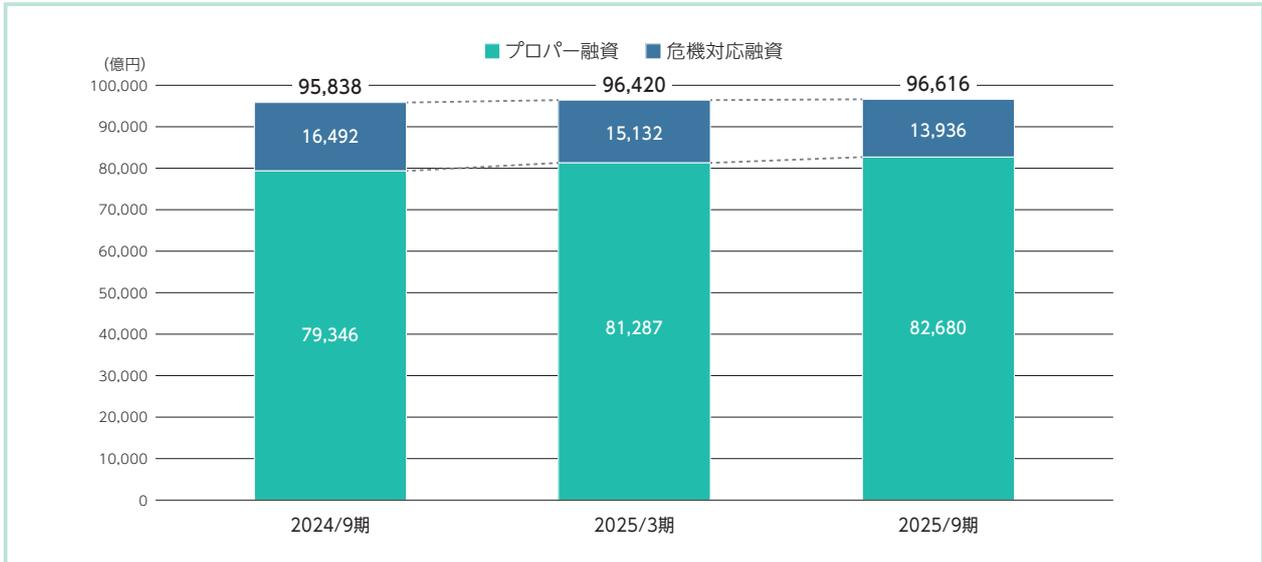
決算ハイライト 単体ベース (以下同様)

2025年9月期決算		
収益性	業務純益	292億円
	純利益	159億円
	ROA	0.24%
	ROE	3.31%
健全性	総自己資本比率	11.38%
効率性	OHR	59.1%

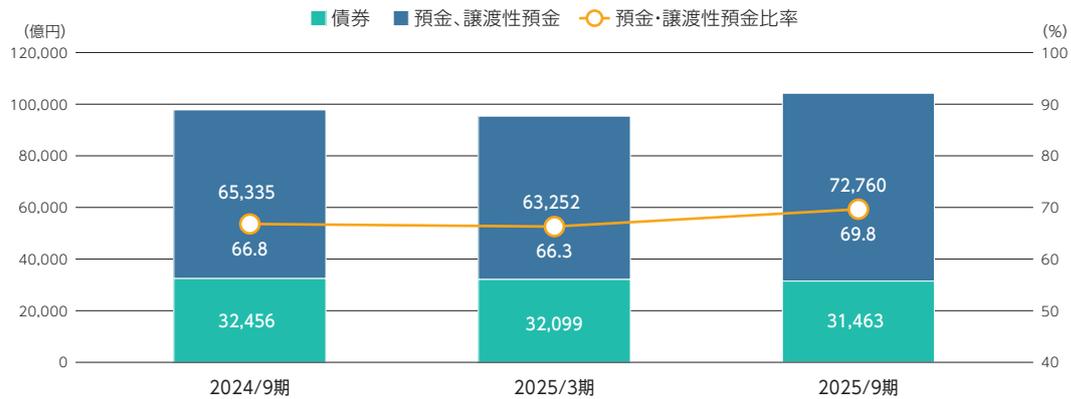
(単位:億円)				2025/9期の業績のポイント
	2024/9期	2025/9期	前年同期比	
業務粗利益	661	714	53	業務粗利益 前年同期比 +53億円 <ul style="list-style-type: none"> ● 資金利益は、国内金利上昇効果等によって前年同期比52億円増加 ● 特定取引利益は、中小企業の為替リスクヘッジニーズの反動減もあり、同13億円減少 ● その他業務利益は、金利リスクコントロール等に伴う保有債券の売却損が縮小し、同15億円増加
資金利益	584	637	52	
役員取引等利益	61	59	△2	
特定取引利益	43	30	△13	
その他業務利益	△28	△12	15	
経費(△)	375	422	46	経費 前年同期比 +46億円 <ul style="list-style-type: none"> ● システム関連や人的資本等への将来に向けた投資により、前年同期比46億円増加(OHR59.1%)
実質業務純益	286	292	6	
一般貸倒引当金繰入額(△)(a)	0	13	13	与信費用 前年同期比 +52億円 <ul style="list-style-type: none"> ● 倒産・デフォルトに伴う不良債権処理額は前年同期比減少したが、取引先の業績回復に伴うランクアップ等が減少し、同52億円増加
臨時損益	△89	△54	34	
不良債権処理額(△)(b)	99	138	38	普通株式等 Tier1 比率 前年同期比 △1.58% <ul style="list-style-type: none"> ● 自己株式取得に伴い、普通株式等Tier1比率は9.24%に低下。今後3年程度で10%まで回復を見込む
経常利益	196	223	26	
中間純利益	139	159	20	
与信費用(a)+(b)(△は戻入益)	100	152	52	
ROA(中間純利益ベース)	0.21%	0.24%	0.02%	
ROE(中間純利益ベース)	2.71%	3.31%	0.60%	
総自己資本比率	12.99%	11.38%	△1.61%	
普通株式等Tier1比率	10.82%	9.24%	△1.58%	
不良債権比率	3.0%	3.2%	0.2%	

- ROE: 純資産は期首と期末の平均により算出。
- 不良債権比率: IV分類額控除後の不良債権の総与信残高に占める割合。
- 普通株式等Tier1比率は、評価差額金を除く。

貸出金残高



資金調達の状況



自己査定

自己査定の取引先区別残高

(単位:億円)

	2024/9期		2025/3期		2025/9期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
破綻先	653	0.7%	677	0.7%	730	0.7%
実質破綻先	656	0.7%	667	0.7%	679	0.7%
破綻懸念先	1,675	1.7%	1,613	1.6%	1,593	1.6%
要注意先	33,773	34.6%	32,965	33.6%	31,921	32.5%
要管理先	900	0.9%	990	1.0%	1,121	1.2%
その他要注意先	32,873	33.7%	31,974	32.6%	30,799	31.3%
正常先	60,740	62.3%	62,174	63.4%	63,395	64.5%
合計	97,500	100.0%	98,098	100.0%	98,320	100.0%

・自己査定対象債権は、金融再生法に基づく開示対象債権と同一の基準にて開示。

・金融再生法に基づく開示対象債権は、貸出金のほか、商工中金保証付私募債、外国為替、支払承諾見返や未収利息、仮払金など貸出金に準ずる債権を含む。